

KITE 新聞

Think globally, act locally

KITE(カイト)って何？

国際交流新聞

Kashima High School Intercultural Tributary Committee

和歌山県立神島高等学校国際理解教育推進委員会

国際理解に貢献する神島高校の委員会（直訳）の事です。

平成 31 年 2 月発行 第 24 号

留学生 マイケル君からのメッセージ

昨年の 6 月 26 日から 8 月 6 日まで、マイケル・カミル・クレプラー君が本校へ YFU の短期留学生として来校してくれました。日本を発つ前に、マイケル君がメッセージを残してくれたので、ここに紹介させていただきます。

『神島高等学校の先生方、友だちのみなさんへ』

今日、みなさんにお別れを言わなければならないのは、とても残念です。日本そして和歌山を離れることはつらいです。登校したのは 2018 年 7 月 3 日から 7 月 20 日までの短い間でしたが、僕の人生の中で、最もありがたく、最も励みになり、最も満足のいく、最も期待できる、そして最もすばらしい経験となりました。

南紀白浜空港から直接、神島高校にやってきた瞬間から、アットホームな感じがしました。神島高校は僕を特別扱いせずにいさしてくれました。すぐに先生や 2F のクラス、バレーボール部とよい関係ができ、今では別れがなくなるほどのものになりました。これから、お世話になった皆さんに個々にお礼の気持ちを書きたいと思います。



『先生方へ』

教室、授業、講義など一緒に座って勉強できる機会を作ってください、ありがとうございました。僕が考えてもいなかったやり方で、先生と生徒のふれあいを見せていただき、満足でした。そのおかげで、毎日笑顔でその日その日を終わることができました。日本語を話すことができなくて申し訳なかったです。でも、来年きっと戻ってきて、その時にはもっと日本語を勉強すると約束します。辛抱強く、思いやりをもち、僕を生徒の一員として気持ちよく受け入れてくれ、ほんとうにありがとうございました。先生方みなさんから多くのことを学ぶことができました。私を受け入れてくださいありがとうございました。また戻ってきてみなさんにお会いしたいと思います。

『2 年 F 組のみんなへ』

みんなとの関係について述べるのに言葉が出てきません。教室へ足を踏み入れた瞬間から、僕は 2F の一員になったなあと思いました。それぞれ一人一人と友だち関係ができ、みんなが僕に教えてくれた人生の教訓は忘れられないものになりました。

2F は笑顔の大切さと友情の大切さを教えてくれました。ほんの短い期間だったけれど、ずっと一年中 2F にいたかのように感じさせてくれました。友情というものがどういうものなのかを見せてくれてほんとにありがとう、2 Friends のみんな、僕を忘れないでね。できるだけ早くもどってくるから。離ればなれになったその場所で、友情が見つかることもあると信じてい



ます。僕の心の中には、2Fのみんなの特別な場所があるんだよ。だからきっとすぐにまた会おう、昔からの友だちのように。



『バレーボール部のみなさんへ』

最後になったけれど、神島高校のバレーボール部のみなさんにお礼を言いたいです。毎朝起きた瞬間に、今日も楽しみだなあと考えていたことはみんなとバレーをすることでした。毎日、授業が終わるのを待ちかねて体育館へ走って行きました。

毎日君たちと一緒に過ごし、一生懸命熱意を持ってスポーツに打ち込んだことで、2Fと同じくらいに深い関係や絆ができました。みんなという時ほど笑ったことがないくらい、僕は笑いました。みんなが僕を受け入れて一緒にプレイさせてくれたことに、言葉では表せないほど深く感謝しています。どんなチームであれ、新しいメンバーが入ると、慣れるまで邪魔だったりするものだと僕も知っているよ、なのに、君たちは完璧で本物の柔軟性と吸収力で僕を受け入れ、ホントに居心地良く自然に感じさせてくれました。7月30日の練習試合に参加させてもらえたのは、特権であり名誉なことで、とても嬉しかったです。

みんなにさよならを言わなければならないことが一番つらいです。絶対僕を忘れないでください。また一緒に、疲れて腕が上がらなくなるくらいまでバレーをしようよ！

最後に、学校の先生方、2Fのみんな、バレーボール部のみなさん、私をファミリーのように受け入れてくれて、本当にありがとうございました。

短い滞在だったのに、こんなにお別れを言うのがつらいとは思ってもみませんでした。この学校で経験させてもらったことや築いた絆や関係、そして何よりここで生まれた友情を忘れることはないでしょう。2018年6月26日～8月6日の思い出を永遠に胸に、感謝し続けます。本当にありがとうございました。

「私はみんなが大好きです。」

愛をこめて

2018年8月6日 マイケル・カミル・クレプラ



Michael Krepula

August 6, 2018

Dear Friends & Staff of Kashima High School,

It is my unfortunate task to have to say goodbye to you all today. Leaving Wakayama and leaving Japan is not something I have looked forward to. Spending the short time with you from July 3-July 20, 2018 was the most humbling, up lifting, gratifying, promising, and amazing experience of my life. From the moment I came, straight from Nanki-Shirahama Airport, I have felt at home; the atmosphere at Kashima was no exception. My immediate connection with the teachers, Homeroom 2F, and the volleyball team is what will make saying goodbye the hardest. Therefore, I will begin writing to you individually to thank you for everything you've done for me-

Staff:

Thank you for the opportunity to sit and observe your classes, lessons, and lectures.

Watching the interactions between teachers and students fulfilled me in ways that I never thought possible, and I

always ended each day with a smile. I am sorry that I did not speak Japanese, but I promise I will learn more for when I try to come back and visit next year. Thank you for being patient and understanding, and making me feel like a part of the student body. I have learned so much from all of you; thank you for accepting me and I hope to see you all again soon.

Homerom 2F:

Words cannot begin to describe the relationship that I have formed with you. From the moment I walked into the classroom, I knew that I was a part of 2F. I have created individual relationships with each and every one of you, and the life lessons that you all taught me are unforgettable. 2F taught me the importance of a smile; the importance of friendship. Although I was only here for a short time, our bond made me feel like I had been a part of 2F all year. Thank you for showing me what friendship is, and I hope you never forget me, 2Friends. I promise to visit as soon as I can, and I hope we can pick up our friendship right where we left off. All of you hold a special place in my heart, and I hope that we can see each other again soon... just like old friends.



Volleyball Team:

Last but not least, I want to thank the volleyball team at Kashima High School. Waiting for school to finish just so I can go to the gym and play volleyball with all of you is something that I looked forward to from the moment I woke up every morning. Just like with 2F, spending every day with you and playing the sport that we are all passionate about, allowed me to form relationships and bonds with each and every one of you. I have never laughed or smiled as much as when I was with all of you. Words cannot express how deeply grateful I am that you all accepted me and allowed me to play with you; I know that a new member to any team is sometimes an obstacle to overcome. However, your complete and utter "absorbance" of me into the squad made me feel so comfortable and at-home. It was an absolute privilege and honor to be able to practice and even play with you on July 30th. Saying goodbye to you was one of the hardest things I ever had to do. Please don't forget me, I will be back soon, and we will play volleyball until our hands fall off!

To conclude, I would like to thank each and every member of the staff, 2 F, and the volleyball club team for showing me what home and family is. I would have never thought that my short time in Japan would be this hard to say goodbye to. I will never forget the experience I had here, I will never forget the bonds, relationships, and most of all, friendships that I have made here. I will forever be grateful for June 26-August 6, 2018. Thank you all for everything. I love you.

わたし わ みんな が だいすきです (原文ママ)

With Love, Michael Krepula

アメリカ ワシントン州

シアトルへの短期留学を終えて

3年G組 細川真希



私は8月に1週間アメリカのシアトルへホームステイに行ってきました。アメリカには中学生の時に1回行って今回が2回目でした。中学生の頃の私は英語がすごく嫌いで、先生に単語の覚え方を教えてもらったのに一切実行しないくらいでした。そんな私が英語マスターを目指すきっかけをくれたのがアメリカです。そんな思い入れがあるアメリカにまた行けるのが嬉しかったです。

アメリカでの生活は朝6時にアラームで起き、お母さんの朝食を食べ、バスで1時間半かけワシントン大学へ行くことから始まりました。5日間中3回現地の先生の授業がありました。日本では基本的に生徒が話を聞く受動型ですが、アメリカは生徒を進めていく参加型です。スピーキングが苦手な私にとってはうまく答えられず、名前を呼ばれるのにおびえていました。しかし、下手でも自信を持って発言するようにし、乗り越えました。授業以外はマリナーズ球場やボーイング社などへ観光に行き、貴重な体験をしました。なかでも私のお気に入りには、



4回も行ったパイク・プレイス・マーケットです。そこはスターバックス1号店、有名なガムウォールがあります。また、その魚屋のお兄さんがかっこよく同じ派遣の女の子と見かけるたびはしゃいでいました。初日に2ショット、最終日に3ショット撮ったのはいい思い出です。

ホストはフィリピン家族で、フィリピン人のグループがあり、休日はそのグループと過ごしました。おかげでたくさん友達ができ、今でもインスタで繋がっています。ホストとはすぐ仲良くなれ、最後の夜は子どもたちとジェスチャーゲーム、くすぐり合いをし、気づけば夜2時で何回もハグをしてお別れしました。本当に素敵な温かい家族だったのでお別れはつらかったです。アメリカは全然知らない人でもすれ違うとき目が合えば必ずあいさつや笑顔を見せてくれます。こんな優しい人いっぱいの国に次は英語マスターになってまた行きたいです。



1年A組 沖平 菜瑠

私は、夏休みの8月16日から25日まで、約10日間アメリカのシアトルにホームステイに行きました。ホームステイの派遣生に決まるまで、面接があり、英

語での応答などをしなければいけませんでした。私は英語がすきだけど、英語で自分のことについて話せるほどの能力がなく不安でしたが、何とか面接に受かり、アメリカに旅立つことが決まりました。派遣生は中2から高3までの男女あわせて10名でした。当日、韓国の仁川空港経由でシアトルに行きました。現地に着き、周りを見渡すと、当たり前外国人しかなくて、ちょっと怖かったです。空港で日本人のコーディネーターさんと合流し、スタバ第1号店があることで有名なパイク・プレイス・マーケットに行くなど、少し観光をしてからホストファミリーと対面しました。私のホストファミリーは、キャサリンとデニスさんでした。ホストファミリーの車で家に帰りました。家はとても大きくてきれいで豪邸みたいでした。

ホストファザーのデニスが、家のことやテレビのつけ方、朝は何時に起きるかなどをいろいろ教えてくれたけど、英語に慣れていないので、なかなか聞き取れませんでした。その時に、これからうまくやっていけるのか不安になりました。

3日間、ワシントン大学で語学研修をしました。もちろん外国人の先生なので、話す言葉も英語で、自分でどうにか聞き取らないといけなくて、授業の内容よりも先生への言葉を理解することで精一杯でした。そこで、あらためて自分の英語力の無さ、言葉がわからない自分への苛立ち、これから先に対しての不安などが重なりホームシックになり、早く日本に帰りたいと毎日思っていました。だけど、日が経つにつれ、英語にも慣れてきて自分の気持ちをうまく伝えること

はできないけど、現地の人話す英語がだんだんと聞き取れるようになり、言葉の意味を理解することができるようになりました。その時に少しだけ自分が成長したように感じ、はじめてホームステイに来て良かったと思いました。

約10日間のホームステイを振り返ってみると、楽しいことばかりではなく、辛いことも多かったですし、何より自分の英語力のレベルに気づかされたと思います。そして、このホームステイを通して、私の将来なりたい職業を見つけることができたので、とても良いホームステイになったと思います。次はもっと英語を身に付けてからアメリカに行きたいです。



ホームステイを受け入れて

3年A組 熊代 さくら

私は、ホストファミリーになってホームステイの受け入れをして本当に良かったと思います。外国人と実際に英語でコミュニケーションを取れたこともうれしかったです。毎日、オーストラリアの子たちと遊びに行き、はじめは戸惑うこともありましたが、日に日に打ち

解け、最終日には離れるのがすごく悲しかったです。日本でしかできない体験も一緒にできたので楽しんでもらえたと思います。私にとっても、とてもいい経験になりました。

3年A組 田中 彩良

ホームステイの受け入れをして、とても良い経験が楽しい一週間を



過ごすことができました。初めの日はお互いに緊張して話をしてもあまり続かなかったけれど、だんだん慣れてくると向こうからも色々話してくれたので、楽しか

ったです。向こうの生活や文化の話もしてくれて知らないことを知れるいい機会になりました。英語が分からないときでも、簡単な英語や単語、ジェスチャーで伝わったので良かったです。受け入れの期間が終わった今でも、連絡をとりあったりできているので嬉しいです。

3年B組 田辺 真依

私は、昨年オーストラリアでお世話になったホストの受け入れをしました。一年ぶりだったということもあり、はじめは緊張しましたが、すぐに打ち解けることができました。

私が印象に残っていることは、日本の文化にとっても興味を持ってくれたことです。お寿司やたこ焼きなどの日本食、お箸を使って食べることに驚いたり、面白がったりしていました。遊園地に行ったり、夜遅くまで話をしたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。その反面、言葉が通じないことに少しもどかしさも感じました。それでも身振り、手振り、拙い英語



で伝えると理解してくれ、また日本語を話してくれることに嬉しさも感じました。

とても短い時間でしたが、良い経験になり、もっと英語の勉強をがんばろうと思いました。私だけでなく、私の家族にとっても、楽しく貴重な時間になりました。また日本に家族で来たいと言ってくれたことが一番嬉しかったです。

3年F組 福田 胡美

ホームステイの受け入れをして、とても楽しかったです。家に来た

子は最初すごくおとなしくてはばかり屋でしたが、だんだんと心を開いてくれてうれしかったです。他のホームステイに来ている子と一緒にカラオケに行ったのが印象深いです。日本の歌も意味は分かっていないけど一緒に歌ってくれ、普通の友だちのように楽しめました。もう一回受け入れをしたいと思うほど、受け入れて良かったと思いました。

3年F組 押川 湖夏

ホームステイを受け入れて、様々な経験をすることができました。一番苦労したことは、普段全然使わない英語で会話することです。どんな簡単な日本語でも伝わらないことが多々ありました。でも、自分が知っている限られた英語の単語とジェスチャーで話すことができました。いろんご飯を食べたり、花火をしたり、カラオケに行っなどいっぱい遊んでたくさんの思い出を作りました。本当に楽しいのか、おいしいのかなど気持ちが伝わらないので心配したけど、慣れたら言ってくれたので安心しました。登下校は徒歩でした。はじめ



は、その時に何を話したら良いのか分からなかったのが、困りました。相手から話してくれることも少なかったのが、話してくれた時はとても嬉しかったのを覚えています。ホームステイの受け入れ期間はとても短いけど、いっぱい楽しめて、いっぱい思い出を作ることができたので、受け入れて良かったです。

3年B組 上野 遼太

今回の受け入れで英語が苦手な僕はうまく話をしたりするなどのコミュニケーションがとれるか不安でした。しかし、知っている英単語をつなげるだけでも相手は理解をしてくれたので、もっと分かりやすく伝えたいと思い意欲がわき、文法等もうまく利用しようと思いました。

想像していた以上に話もでき、非常に有意義な時間だったと思いました。

1年E組 石田 紗梨

やはり言葉の壁が大きかったけど、とても良い経験になった。自分



がホームステイをさせてもらったことがあるため、私がこうしたらもっと楽しく過ごせるんじゃないかという風に考えて行動することができた。次は私たちがオーストラリアに行く番だ。ホームステイさせてもらう約束をしたので、先生方を選んでいただけるように勉強を頑張りたいと思う。言葉の壁を感じることなく、話せたって言うぐらいの英語の力をつけて会いたい。また、外国に住んでいる友達ができたといい大きな喜びがあ

る。たまに SNS を通じて英語で会話をしている。その中には、日本語でメッセージを送ってきてくれる子もいる。お互いに勉強になるし、その子たちの私生活を知ることもしできる。オーストラリアの子たちは、自分の写真をよく SNS にアップしている。それも自分はこのようにポーズをとればよくなるんじゃないだろうかと思っているのだ。しっかり自分と向き合っているんだと思った。見習っていききたい。



TLSC からのメッセージ



TLSC タンビアンピ校の校章です。校訓の「Standing Tall」とは、「堂々と振る舞う」という意味です。

TLSC (タガラレイクスセカンダリーカレッジ) の生徒がメッセージを送ってくれました。紹介させていただきます。

I liked how everyone at the school was so nice and how we participated in the classes with everyone. And I also liked trying all the delicious Japanese food, it was so good. Also, my homestay family were all so nice and the stay was a really fun experience. The whole trip was just amazing all together.

- Emily Davis

I loved spending time with all the Kashima Students and making new friends.

I also liked participating in their classes, especially origami. I had an amazing time in Japan!

- Charlotte Bacon

I liked being able to live in a Japanese home and experience life as a Japanese student, I loved going to school and learning about Japanese culture and the students were very welcoming. I had the best time in Wakayama and Japan.

- Kaylah Ward

エミリー デイビス

神島高校の皆さんは本当に親切で、皆さんと一緒に授業に参加できたことが良かったです。また和食もいろいろ食べましたが、どれもとてもおいしかったです。ホストファミリーの皆さんが親切にしてくれ、滞在中は本当に楽しい経験ができました。すべてが素晴らしい旅行となりました。

シャーロット ベイコン

この旅行で良かったところは、神島高校の皆さんと一緒に過ごすことができ、新しい友達を作ることができたことです。日本の授業にも参加できました。特に折り紙が楽しかったです。日本で素晴らしい時を過ごすことができました。

ケイラ ウォード

日本の家庭で過ごし、日本の高校生として生活を経験できたことがいい思い出です。学校へ通い、日本の文化について学ぶことができたことも楽しかったです。また生徒の皆さんは本当に優しくかったです。和歌山と日本で最高の時を過ごすことができました。

